

1 教材・教具名

持ち手つき筆

2 教科・領域

国語科（書写）

3 指導目標、指導内容、指導方法（使用場面等）

（指導目標）

- ・補助具付きの筆を持って、朱墨の文字に筆をおいて動かしたり、なぞったりすることができる。（国語）

（指導内容）

- ・補助具付きの筆を持って、朱墨の文字に筆をおいて動かしたり、なぞったりする。

（指導方法）

- ・利き手側に補助具付きの筆を差し出し、握るまで待つ。
- ・しっかり握れたことを確認後、姿勢を整えるまで筆先が周りに付かないように補助する。
- ・筆から手が離れそうな時や書き終えた時に筆を受け取る。

4 工夫点、おすすめポイント

- ・棒状のものが握れない、筆記具を正しい持ち方で持つことが難しい生徒でも持ちやすい。
- ・長さを調節することができる。
- ・指筆だけで使用することも可。

5 作成について

①材料や大きさ

- ・直径 1.5cm の丸棒。
- ・指筆
- ・樹脂粘土
- ・指サック（なくても可）



②使用道具

- ・のこぎり（丸棒を切るため）
- ・お湯、空き瓶など（樹脂粘土の成型のため）

③作り方

- ・直径 1.5cm の丸棒を 10cm ぐらいに切る。（太さや長さは生徒の手に合わせる）
- ・6cm ぐらいの位置にお湯で柔らかくした樹脂粘土で持ち手を作る。
- ・指筆に丸棒の長い方を差し込み、棒の反対側に指サックをかぶせる。